



# 六が夢中!

発行 近隣中学校代表  
野田市立第二中学校  
第11号 (R4最終号)  
令和5年3月14日

## 『 卒業おめでとうございます 』

中学校は一足早く、10日に卒業式を終えました。いよいよ今週は皆さんの番ですね!!

さて、17日(金)に卒業式を迎える今、どんな気持ちでしょうか。4月の「六が夢中」で書きましたが、「最高の学年」になれたでしょうか。では、「最高の学年」になれたかどうかは、誰が決めるのでしょうか。もちろん、自分たちでそう思うこともできますが、やっぱり小学校で言えば、1年生から5年生までの下級生ではないでしょうか。「6年生はすごい!」「6年生はカッコいい!」「6年生は頼もしい!」「6年生は最高!!」などと下級生に思ってもらえたら・・・いかがでしょうか。「最高の6年生、最高の学年」になれましたか。

いよいよ4月からは中学生。一年間「六が夢中」で中学校の様子を、主に皆さんの一つ上の学年の1年生からのメッセージを中心に紹介してきました。実は小学校も中学校も同じなんです。友達や先生方と一緒に目標をもって、一つ一つの事に一生懸命に取り組む場所です。成功もあれば失敗もある、楽しいこともある、辛いこともある、色々あるから大きく成長できる、小学校と一緒にしょ。

だから小学校6年間を頑張った皆さんなら大丈夫。自信をもって笑顔で入学してきてください。うまくいかないことは先輩や先生方が助けてくれます。もし、時間があったら、今までもらった「六が夢中」を読み返してみてください。見つからなくても大丈夫、二中のホームページにありますよ。中学校に入学したらやりたいことを書き出してみよう。楽しみを増やすことが大切です。

それでは、それぞれの進学先の中学校での活躍を楽しみにしています!

(第二中学校 校長 杉崎)

### 保護者の皆様へ

「ご卒業おめでとうございます」

今年度から始めた連携だより「六が夢中」いかがだったでしょうか。

少しはお役に立てたでしょうか。来年度は皆様のお子様が中学校1年生になり、今度は読む側ではなく、書く側になります。(二中ですが・・・)

どんな中学生になるのでしょうか。心よりお子様のご入学をお待ちしております。

(17日の卒業式の晴れ姿、楽しみですね!)

### 感謝祭



### 卒業証書授与式



## ☆1年生からのメッセージ「感謝祭を終えて」です。(出身小学校・名字イニシャル)

一年前は皆さんと同じ小学6年生だった、中学1年生からのメッセージです。たった一年ですが、心も体も大きく成長しました。頑張った分だけ成長する、それが中学校です！！

今回の感謝祭を終えて、テスト期間があったりもして正直間に合うのか、すごく不安でした。でも手打ちも劇も一人一人が3年生への思いを込めて、できたことが良かったです。そして、昼休みや放課後などを使い、陰ながら支えてくれた人もたくさんいたし、各学年などとの協力もできました。当日はすごく緊張もありましたが、全力で3年生への愛を伝えられたと思います。そして、全体を通して、やっぱり3年生がすごく楽しんでくれていたことが、一番うれしかったし、良かったと思いました。またやりたいと思えるようなものにできたことがすごくうれしいです。

(荒川区立第七峡田小・S)

私は主にダンスリーダーとして当日まで学級や学年で活動していました。当日では、少し不安なところもあったけれど、みんなで楽しく3年生に感謝を伝えられたと思います。また、このような場があったら感謝の気持ちを忘れずにできたらいいなと思いました。

(中央小・K)

僕は感謝祭で学年の先頭に立って行動することが多くありました。その中でも特に全校応援団として、先輩からハチマキを受け継いだ時に、これから負う責任の重さを実感しました。3年生達が創り上げた伝統を大切に受け継いでいきたいです。

(中央小・A)

今回行った感謝祭は本当に楽しかったです。1年生も2年生も3年生も、様々な場面で関わってきた人達に「感謝の気持ちを伝えて、楽しませたい！」こういった気持ちをそれぞれの人々がもって何度も練習し、練習するたびに先生方にされたアドバイスをしっかり取り入れていったからこそ、今回の感謝祭は成功できたと思います。自分達の発表で先輩方が笑ってくれた時はしっかり練習して良かったなと感じました。

(宮崎小・N)

私は感謝祭でたくさんの事を学びました。誰かのために一生懸命頑張る事の大切さ、今の頑張りが2年後、形になって自分たちへ返ってくる事、周りとの協力して大きな物事を作り上げる事等、本当にたくさんの事を学びました。最初はみんなバラバラで、本番がとても心配でした。ですが、練習を重ねていくことで、まとまっていき、最終的には本番で先輩が心から笑えたと言ってくれた素敵な感謝祭になりました。ここまで頑張ってきて良かったなと心に深く残る出来事になりました。

(中央小・I)

僕たちは3年生に向けて感謝祭を開き、僕はその中で、招待状を作りました。招待状では、先輩全員に一人ずつメッセージを書いて感謝の気持ちを届け、学年発表では劇をしたり、歌を歌うことで感謝の気持ちを伝えました。皆さんも来年度の3年生に向けての感謝祭では、全員がいろいろな工夫をしながら感謝を伝えてみてください。

(中央小・O)

私は今回の感謝祭でダンスリーダーを務めました。振り付けを早く覚え、大きく踊るために家で練習したり、動画を見て勉強したりしました。そのかいあって、先生や親が「動きが大きくていいね。」とほめてくれました。また、教える機会では、大きい動きを生かして、一つ一つ丁寧にレクチャーすることができました。本番、3年生に対してダンスで精一杯の感謝を伝えられたと思います。この感謝祭はとても良いものになったと確信しました。

(尾崎小・Z)

私は感謝祭で呼びかけを担当しました。最初は緊張してなかなか声が出せなかったけれど、練習を重ねるたびに、少しずつ声を出すことができ、本番では大きな声を出すことができました。また、学年発表では、1年生の一人一人が3年生に感謝の気持ちを伝えることができたと思います。

(中央小・S)

